

平成31年度 伊保小学校学校経営方針

1 学校教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、自ら学び、心豊かに、
たくましく生きる子どもの育成
— かしこく・つよく・うつくしく —

(1) めざす子ども像

- かしこく－ 自分の思いや考えを表現できる子
- つよく－ 目標達成に向かって粘り強くやり遂げようとする子
- うつくしく－ 自分を大切にするとともに、他の人も大切にできる子

(2) めざす教師像

- やさしさと厳しさを持ち、子どもとしっかり向き合う教師
- お互いの指導力を高め、励ましサポートし合う教師
- 子ども・保護者・地域から信頼される教師

(3) めざす学校像

- 語り合い、学ぶ楽しさが味わえる学校
- 励まし合い、助け合い、認め合う学校
- 家庭、地域と連携し合う学校

2 経営方針

「つなぐ・つくる・ひらく」

つなぐ

・心をつなぐ

道徳教育を充実させ、「小中一貫教育」における「あたたかい心」の育成に重点をおく。異学年・同学年の交流をいかながら一人一人の特性やちがいを認め、ともに生きる心を育てる。

・学びをつなぐ

確かな学力を身につけさせ、自信を持ち新しい自分の道を切り開く力を育てる。「小中一貫教育」における「まなぶ力」の育成に取り組む。

・命をつなぐ

自分の命は自分で守ることを基本に他の人の命も大切にできる子を育てる。

・学校、家庭、地域をつなぐ

学校、家庭、地域がつながり、子どもを地域の宝として育てるよう、開かれた学校づくりに努める。

つくる

・心の通い合う学級づくり

温かくゆとりのある心で子どもと向き合う。

・認め合う学級づくり

お互いが特性やちがいを認め合う学級をつくる。

- ・学習環境の整った学級づくり
居心地のよい学びの場（落ち着いた環境・うつくしい教室）
- ひらく ・学校評価をいかした教育活動の充実
成果や課題を共有し、指導の見直しと改善を行い、自信とやりがいを持つ。
- ・オープンスクールの実施
保護者・地域の人々に教育活動を公開し、魅力・特色を発信する。
- ・ふるさと学習
伊保に誇りを持ち、地域とつながり、次代を担う子どもたちを育成する。

3 本年度の努力目標

- (1) 道徳教育の充実
 - ・自尊感情を高め、道徳性を養う道徳教育の充実と人権意識の高揚
 - ・子どもに寄り添い、心の通い合う学級づくり
 - ・規範意識の指導の徹底
- (2) 学習指導の充実
 - ・学習規律の確立と学び合う学習集団づくり
 - ・指導力向上に向けた授業研究及び研修
 - ・教職員のチームによる協同体制づくりとメンタルヘルスの充実
 - ・業務改善と教職員の勤務時間の適正化
 - ・外国語活動の推進
- (3) 特別支援教育の充実
 - ・児童の実態に応じたきめ細かな計画の作成と活用
 - ・校内支援体制の整備と関係機関との連携の充実
 - ・一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び支援の充実
- (4) 生徒指導・いじめ対応の徹底
 - ・挨拶・掃除を中心に、規律ある態度の育成と基本的な生活習慣の徹底
 - ・いじめ・体罰を絶対に許さない学校風土づくり
- (5) 地域を愛し、地域に信頼される、開かれた学校づくり
 - ・小中一貫教育の充実 「まなぶ力」と「あたたかい心」の育成
 - ・危機管理の徹底 安全マップや対応マニュアルの活用、体制の確立と訓練の実施
 - ・学校からの積極的な情報発信（ホームページ、学校だより、学年だより等）

※ 下線部は、本年度の推進取組事項でもある。

4 本年度の推進取組

上記の下線部の他に、

- 体力づくりや文化活動の推進
 - 情報教育や環境教育の推進
- を、本年度の推進取組事項とする。